

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 4 月 25 日	
沖縄県知事 殿	
提出者	
住 所 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち4丁目11番25号	
氏 名 大和ハウス工業株式会社沖縄支店 支店長 岡林 弘治	
電話番号 098-941-7111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 沖縄支店
	沖縄県那覇市おもろまち4丁目11番25号
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	沖縄県全域（那覇市除く）
③従業員数	75人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	収集運搬 中間処理 2次中間処理 マテリアルリサイクル マテリアルリサイクル (※1 残渣は埋立) サーマルリサイクル (※2 残渣は埋立) 最終処分(埋立) 石綿含有廃棄物 ※1:一部の処理系統において、石膏ボードの紙など。 ※2:一部の処理系統において、焼却灰など。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物管理責任者 お客様相談センター(住宅) 課長		産業廃棄物減量化・分別推進者 流通店舗工事課 5名 中高層工事部九州グループ 7名 お客様相談センター(マンション担当) 3名 お客様相談センター(住宅担当) 2名	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	別紙のとおり	
	（これまでに実施した取組） ・ 月1回実施している安全パトロールにて、現場の廃棄物置場を確認し、問題点を確認・改善に努めた。 ・ 処理系統の見直しを図り、再資源化できる体制を整えた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	別紙のとおり	
	（今後実施する予定の取組） ・ 現場での廃棄物の分別を強化し、廃棄物削減を目指す。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがら、アスコンがら、その他がれき類、ガラス・陶磁器くず、廃プラスチック類、金属くず、木くず、紙くず、繊維くず ・ 現場において、廃棄物置場に屋根を設置し、廃棄物の水漏れを防いでいる。 ・ 廃棄物は品目ごとに袋に入れて保管している。 ・ 朝礼時及び昼の打合せ時に分別に関し指導。 ・ 月1回開催している災害防止協議会にて協力業者へ分別に関し指導。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがら、アスコンがら、その他がれき類、ガラス・陶磁器くず、廃プラスチック類、金属、紙くず、木くず、繊維くず、石膏ボード ・ 現場の廃棄物置場では品目ごとにサインを掲示し、分別に関する意識を高める。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量		
	再生利用業者への処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組)		
・ 処理系等の見直しと現場での分別を徹底し再資源化に努めている。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(今後実施する予定の取組) ・ 廃棄物の再生利用を目指し、現場ごとに分別を強化。 ・ 月1回実施している安全パトロールや災害防止協議会等での産廃に関する指導を継続実施。		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	ガラス・陶磁器くず（石膏ボード）	廃プラスチック	金属くず	木くず	紙くず
	排出量	409.4	136.24	144.16	12.91	83.39	63.46	192.7	78.05	70.08
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	ガラス・陶磁器くず（石膏ボード）	廃プラスチック	金属くず	木くず	紙くず
	排出量	368.46	122.62	129.74	11.62	75.05	57.11	173.43	70.25	63.07

（単位：t）

前年度（令和5年度）実績 合計	1,190.39
目標 合計	1,071.35

（単位：t）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	ガラス・陶磁器くず（石膏ボード）	廃プラスチック	金属くず	木くず	紙くず
	全処理委託量	409.4	136.24	144.16	12.91	83.39	63.46	192.7	78.05	70.08
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への処理委託量	407.62	136.24	112.32	12.78	83.39	1.1	191.18	77.1	69.61
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	61.34	0	0.95	0.47

(単位：t)

全処理委託量 合計	1190.39
優良認定処理業者への処理委託量 合計	0
再生利用業者への処理委託量 合計	1091.34
認定熱回収業者への処理委託量 合計	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 合計	62.76

(単位：t)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	ガラス・陶磁器くず (石膏ボード)	廃プラスチック	金属くず	木くず	紙くず
	全処理委託量	368.46	122.62	129.74	11.62	75.05	57.11	173.43	70.25	63.07
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への処理委託量	366.86	122.6	101.09	11.5	75.05	0.99	172.06	69.39	62.65
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	55.21	0	0.86	0.42

(単位：t)

全処理委託量 合計	1,071.35
優良認定処理業者への処理委託量 合計	0
再生利用業者への処理委託量 合計	982.21
認定熱回収業者への処理委託量 合計	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 合計	56.49

(単位：t)